

令和6年9月1日(日) 観世会定期能 午後1時開演

【演目・出演者】

能 花月

シテ/花月	寺井 栄	後見	大江又三郎
ワキ/旅僧	御厨 誠吾		坂口 貴信
間狂言/清水寺門前ノ者	野村万之丞	地謡	武田 志房
笛	熊本俊太郎		関根 知孝
小鼓	観世新九郎		津田 和忠
大鼓	亀井 実		今井 泰介
			藤波 重孝
			清水 義也
			井上裕之真
			小檜山浩二

狂言 酢薑

酢売	野村 万蔵
薑売	野村真之介

午後2時10分頃(休憩20分)

能 籠太鼓

シテ/清次ノ妻	藤波 重彦	後見	観世 恭秀
ワキ/松浦ノ某	館田 善博		武田 友志
間狂言/領主ノ下人	野村拳之介	地謡	武田 宗和
笛	藤田朝太郎		中島 志津夫
小鼓	曾和 正博		武田 尚浩
大鼓	安福 光雄		下平 克宏
			角 幸二郎
			坂井 音晴
			武田 宗典
			杉浦悠一郎

午後3時20分頃(休憩15分)

能 熊坂 替之型

前シテ/僧 後シテ/熊坂長範	坂井 音隆	後見	観世 清和
ワキ/旅僧	安田 登		吉井 基晴
間狂言/里人	河野 佑紀	地謡	山階彌右衛門
笛	藤田 貴寛		浅見 重好
小鼓	飯田 清一		上田 公威
大鼓	大倉栄太郎		観世三郎太
太鼓	金春惣右衛門		北浪 貴裕
			坂井 音雅
			武田 文志
			関根 祥丸

附 祝 言

終演予定 午後4時50分

- ・諸般の事情により、演目・上演形式・出演者の変更の場合もございます。
- ・館内の空調はお席によっては冷暖房の温度高低に差がございます。予め御留意いただきますようお願い申し上げます。
- ・公演中の無断撮影、録音は著作権等の法律に抵触いたしますので、固くお断り申し上げます。
- ・演能中の見所への入退場につきましては、制限させていただきます場合がございます。何卒ご了承ください。

【あらすじ】

能 花月(かげつ)

我が子が七歳のときに行方知れずとなりそれを悲しむあまり出家した男は、諸国修行の途中、花盛りの清水寺で寺の縁起を語り、舞に興じている花月という少年と出会う。僧はその少年がさらわれた我が子だと気づき、声を掛ける。親子は再会を喜び、連れだって仏道修行の旅に出るのだった。

狂言 酢薑(すはじかみ)

津の国の薑(生姜)売りと和泉の国の酢売りが都で出会う。二人は互いの商品の由緒正しさについて、秀句を用いて言い争うが…。

能 籠太鼓(ろうたいこ)

所領争いの末に相手を殺害してしまい、主君・松浦某の牢に繋がれていた関清次は隙を突いて脱獄する。夫の身代りに囚われた妻は、夫の居場所を問われるが、知らぬというばかり。その心に打たれた松浦は牢を出るように言うが、自分は身代わり故に出られない。この牢が夫の形見だと言い、牢から出ようとしぬ。そして牢番が時を打つ鼓を見て、夫を思うあまり心乱れ狂おしく舞う。その姿を憐れに思った松浦は、ついに夫婦を許し、妻は夫の元へと戻って行く。

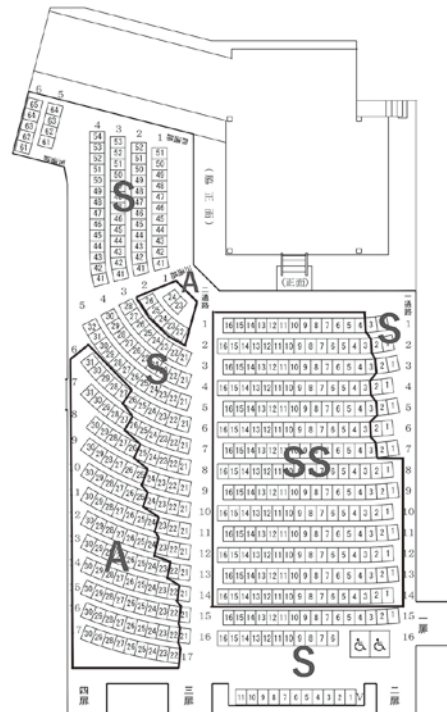
能 熊坂 替之型(くまさか かえのかた)

旅僧は美濃国・赤坂で、所の僧に弔いを頼まれ庵に導かれる。ところが庵には仏具ではなく武具ばかりが並べられているので不審に思い尋ねると、僧は盗賊を退治するためのものだと言え、寝所に姿を消す。すると庵も消え、旅僧は草むらに居ることに気づく。弔いをする旅僧の前に盗賊・熊坂長範の霊が現れ、牛若丸に討たれた最期を語り消え失せる。

●能面解説

喝喰(かっしき)

銀杏の葉のような前髪が特徴的な面であり、前髪の残る禪宗の半僧半俗の少年の姿をしている。喝喰には大中小の区別があり、本作は「中喝喰」に分類される。凛々しい眉毛、全体の朱の色彩が若々しさを感じさせる。龍右衛門作、室町時代、重要美術品。



令和6年観世会秋の別会のお知らせ

10月6日(日) 午後1時始

鸚鵡小町 杖三段之舞 関根 知孝
海士 解脱之伝 観世 清和
二段返之応答

チケット発売 会場販売 8月4日(日)
電話・インターネット 8月6日(火)

能楽はユネスコ(国際連合教育科学文化機関)による第1回「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を受け、世界無形遺産に認定されております。

二十五世観世左近記念

観世能楽堂

東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3F
Tel: 03-6274-6579

地下鉄銀座駅からGINZA SIX地下2階につながる地下通路がございます。

- 銀座駅/東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線
A5出口より徒歩2分
- 東銀座駅/東京メトロ日比谷線・都営浅草線
A1出口より徒歩3分
- 有楽町駅/JR山手線・京浜東北線/
東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分

